

# 平成21年度 事業活動報告書

平成21年1月1日 から 平成21年12月31日 まで

特定非営利活動法人 江戸城再建を目指す会

## 1. 主な事業の成果

平成21年度は、20年度までの活動の成果を踏まえ、草の根運動としての「江戸城再建を目指す会」をより確かな運動に発展させるため、会員拡大とその定着、基本構想の点検と見直し、並びに事務局運営体制の強化等を目指して活動してきた。

また、今年度の活動で最も大きな成果のひとつは、「築城プラン構想」の実現に向けて、「復元図」策定という新たなステージがつけられつつあることである。

### 1) 会員拡大について：

「2年間で会員総数3,000名」を目指した活動は、平成21年12月31日現在、1,654名に達し、目標には未だ遠いとはいえ着実に前進してきた。また「特別委員の集い」の開催などを通じて、会員拡大活動の担い手がこれまでの理事中心から、特別委員や一般会員に拡がりつつあることはいまままでにない成果と言える。また、会員の継続、定着を目指した会員との間の定期的なDMや電話によるコミュニケーションの実施も、無償ボランティアの参加、協力によって、定着しつつある。

### 2) 事務局体制の強化について：

神田神保町の事務所開設から2年余を経て、お蔭さまで、十数名の無償ボランティアによる事務局体制が漸く定着しつつある。しかし、今後、あらゆる面で発展する事業の拡がりや質的なレベルの高い業務運営が求められるとすれば、より一層、無償ボランティアの幅広い参加を促す組織風土づくりと共に、ボランティアだけで円滑に事務局を運営することは難しい・・・という現実があるだけに、近い将来、会計や情報管理を含めたPC操作やIT業務を始め、事務局全般の仕事に専任し得る有償スタッフの配置が必要不可欠になる、と考える。

従って、今後は、会員の皆様からのご理解とご支持を頂く中で、出来る限り早期に、会の活動を支えられる万全の事務局体制を確立するよう、努力していきたい。

### 3) 財務基盤の強化について：

当会の収入は、主として個人を中心にした「年会費」と「寄付金」によって賄われており、現状で、補助金や助成金等は、どのような機関、企業からも受けていない。一方、毎年、年会費を納入して継続的に参加される会員の、所謂“継続率”は80%台の高い水準を維持しており、新規会員の増加と共に、会員による「年会費」（会員一人平均3,000円前後）が財務基盤を支える重要な柱になっていることは事実である。

しかし、今後より一層発展する事業の拡がりからみて、「年会費」だけに収入源泉を期待することは困難であり、今後とも会員の皆さまは勿論、この運動の趣旨にご賛同くださる市民一般の方々からの「寄付金」に頼らざるを得ないのが現実である（事実、昨年度は「寄付金キャンペーン」を実施したお蔭で、会員と心ある一般市民の方々から、総額約140万円の寄付金を拠金して頂いた。）

従って、安定的かつ継続的な財務基盤を強化する為にも、その現状を皆さまに率直にお伝えし、「寄付金」による「募金キャンペーン」を訴えていきたい。

## 2. 事業活動の内容：

### 「江戸城再建基本構想作成事業」：

一昨年来進めてきた「築城研究」について、昨年は、築城に関わる一般的な課題の抽出を中心に、主として倉橋英太郎建築設計事務所に依頼して中間報告を行った。一方「どんな城を造るのか」については、高度の専門的、学術的研究と検証が不可欠であるとの観点から、昨年12月より、日本の城郭復元研究の第一人者である広島大学大学院の三浦正幸教授のご協力を頂いて、日本で初めての試みとなる、寛永度天守の「復元図」の策定、研究に取り組んで頂くこととなった。幸いにして、このように「築城構想プラン」は、いま全く新たなステージを迎えつつある、と言える。

### 「江戸城再建 意義研究事業」：

第7回セミナー「浅草の歴史を探訪する」催しは、事業の企画段階から実施に至るまで会員有志の参画を得て成功裡に行われ、第8回セミナーの「木造再建大洲城に学ぶ」催しは、数年来の懸案だった現地視察の旅を実施するなど、ほぼ計画通り、所定の成果をあげて実行することができた。

### 「広報宣伝啓蒙事業」：

昨年は、会報「江戸城かわら版」を年4回発行する一方、ホームページ上でセミナーやイベントのお知らせや報告を行なうと共に、会の運動テーマに関わる「特別アンケート」を実施して、会員の意識動向調査をするなど、ほぼ計画通りの成果をあげて実行することができた。

### 「シンポジウム・イベント事業」：

例年春に実施してきた「江戸城址見学とお花見の会」は、皇居東御苑の台座を中心に江戸城址を見学するだけでなく、会員同士の交流、コミュニケーションの場として定着してきた。また、「江戸城が創った日本の礎」をテーマとする講演会を開催するなど、ほぼ計画通り、所定の成果をあげて実行することができた。

### 「外部団体との連携、交流事業」：

千代田区内を始めとする各種組織・団体との連携と交流を中心に活動を進めてきた。これにより、当会の運動と活動の趣旨が、地域とのコミュニケーションを通して、地元になんげずつ、しかし着実に受け入れられつつある、と考える。

## 3. 事業の実施に関する事項:

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数(人)	受益対象者範囲・人数	支出額(千円)
江戸城再建 基本構想作成事業	中間報告 「江戸城再建の今日的意義」 「どんな城になるのか」	2月 及び 通年	長野県  東京都 事務所	5	会員及び 不特定 多数	605
江戸城再建 意義研究事業	・第7回江戸城再建セミナー (28名参加) 浅草の歴史探訪と「駒形どぜう」 ・第8回江戸城再建セミナー (13名参加) 「木造再建大洲城見学と竜馬脱藩の道探訪」	8月  9月	浅草  大洲市	7  7	会員及び 不特定 多数	568
広報宣伝 啓蒙事業	・機関紙「江戸城かわら版」4回発行 ・ホームページ・ブログの更新 ・会員向け意識調査「特別アンケート」	1,3,7,11月  通年  11月	  事務所	5  4  5	会員及び 不特定 多数	2,848
シンポジウム・ イベント事業	・江戸城址見学とお花見の会 (36名参加) ・講演会「江戸城が創った日本の礎」 (27名参加)	4月  10月	江戸城址 東京都	5  3	会員及び 不特定 多数	376
外部団体組織との 交流提携事業	・千代田区内をはじめとする周辺地域との交流 ・第25回 江戸幕府鉄砲組百人隊 参加 ・太田道灌公追慕の集い (33名参加)	通年  9月  10月	東京都  新宿区  江戸城址 (平川門)	7  5  8	会員及び 不特定 多数	520